

釜ヶ崎・山谷闘争への

爆取デッチ上げ弾圧に対する抗議声明

◆暴力手配師追放釜ヶ崎共闘会議

◆暴力手配師悪質業者追放現場闘争委員会

◆釜ヶ崎・山谷闘争に対する爆取デッチ上げ弾圧と闘う会

一九七四年五月

(1) 去る72年12月26日、大阪市西成区の愛隣労働総合センターが爆発された件にかこつけ、大阪府警警備部の西成署捜査本部は74年3月7日、爆発物取締罰則違反、建造物損壊容疑で釜共闘のメンバー3名を逮捕し、同容疑で2名を指名手配、3月23日2名を爆取1条で起訴するという、まったくもって許せないめちやくちやな弾圧を行ってきた。

この弾圧は、権力、ブル新が一体となって、「釜ヶ崎赤軍」がやったというかたちで、下層労働者の闘いから切はなしてキャンペーンしているが、実は、単なる一党一派にかけられてきた弾圧ではなく、72年5・6月以来力強く前進してきたわが釜ヶ崎・山谷労働者の解放闘争全体に対する弾圧である。われわれは、このように受けとめ、満腔の怒りをもって抗議し糾弾する。

そもそも「爆破」当時の12月26日と云えば、越冬闘争の最中であり、越冬闘争のハード・スケジュールを積極的、献身的に担っていた大衆活動家が、他方で爆弾闘争を計画し実行するなど誰れが見ても不可能であり、彼らが「スーパーマンでないとするならば、これはあきらかにでっ上げ以外のなものでもない。釜ヶ崎・山谷闘争をぶっつぶすためのでっ上げ、それもきわめて政治的なフレーム・アップである。

われわれは、田中首相が東南アジア歴訪で反日暴動にみまわれ日本の土を踏んだ時言ったこと、「ジャカルタ暴動は釜ヶ崎・山谷の暴動をたしたようなものだ」という評価を決して軽視してはならない。田中「反動政府」の下で、警察本部長会議が釜ヶ崎・山谷闘争への壊滅指令を出したことを決して看過してはならない。「石油危機インフレ物価高という経済危機に居直る田中「反動政府」の手兵ども

とばかり、「近鉄事件と関連か」(74年3月8日付読売新聞朝刊大阪版)、「京成電鉄爆破も関係か?」(74年3月9日付朝日新聞夕刊大阪版)とかキャンペーンを張り。

⑦市民の皆さん!センター爆破は「1年3ヶ月ぶりに解決」(74年3月8日付読売新聞朝刊大阪版)しました。「47年に起きた過激派の3件の爆破はすべて解決」(74年3月8日付毎日新聞朝刊大阪版)しました!このとおり「市民の敵」爆破犯人をひとつとらえました!市民の皆さん、安心して下さい!警察は必ず爆弾犯人をつかまえることができますので!警察は無駄に税金をつかっているのではありません!……

この手口は、爆取でっ上げ弾圧に共通するパターンとして確認することができる。対世論効果を増すためには、「犯人」を小出しにして二番煎じを繰り返すこと、だから、センター爆破に関してもこれで終りだとは限らない。それは「連赤」捜査劇でわれわれは嫌という程見せつけてられている。

③69年以降の爆弾闘争の激発——「事件」未解決に業をにやした警察当局は、「警視総監公舎爆破(未遂)」事件のでっ上げによつて一点突破を試み、「日石・土田邸爆破」事件でっ上げで、とどめを刺し、警察当局の威信回復を目論んだことをわれわれは知つている。そして、両事件ともに、公判の過程において、でっ上げの実態が暴露されつつあることを知つている。

④今回のセンター爆破に関するでっ上げ弾圧もまず第一に、全体の階級情勢の中で見れば、同様に、警察当局の威信を回復し、爆弾闘争への自己規制的萎縮効果を狙つた「見せしめ」であり、でっ上げられた無実の「犯人」はイケニエであるということ。

②しかし、今回の爆取でっ上げ弾圧における敵対権力の政治的

の、並々ならぬ反革命的決意を背景とした弾圧であるということ、この点を見逃してはならない。(4月19・20日山谷において5・1メーデーに対するけん制として山谷周辺で白昼公然と治安訓練を行なっている。)

(2) 政治的なフレーム・アップであるということは、この間の弾圧過程の手口からもあきらかである。

①昨年73年4月12日の「恐喝」事件を口実とした釜共闘メンバーに対する一斉逮捕に関して、同時に、センター爆破の件について捜査し、ほぼ目度がついたという情報を流し、「市民社会」に対して釜共闘爆弾犯人の世論(どんなエグイ弾圧をしても許される条件)づくりを開始。

②7月28日には、逃亡中の釜共メンバーをかくまったかどで3名を逮捕し、この時も「センター爆破事件解決近し」のキャンペーンを張る。

③今年74年に入って越冬闘争の終わった2月21日、運動の谷間を狙つて、Nら2人を7月頃の恐喝未遂で別件逮捕し、爆弾関係を取り調べ。

④同じく2月13日から27日の間に、越冬闘争の際の窃盗容疑で、Tら釜共メンバー5人を別件逮捕、爆弾関係を配調べ。

⑤3月7日、「自述」が取れた容疑が固まったとして、N、Tを爆取で再逮捕、少年(16才)を新たに加え、Fら2名を指名手配「これだけ調べ尽くしたのだから間違いない」と言わんばかりに「これまで46人を追及、17ヶ所を捜索した結果」(74年3月8日付読売新聞朝刊大阪版)などとまことしやかに付け加え、

⑥ついでまでだから、未解決爆弾事件は全部おっかぶせてしまえ

意図は、次の点において「公告」「日石・土田邸」とは区別されるということ。すなわち、72年5・6月以来、釜ヶ崎において労働者の最先頭で闘ってきたものに対する、大衆運動を献身的に闘ってきたものに対する、釜ヶ崎・山谷闘争全体に対する、直接的な攻撃としてかけられてきているということ。

③すなわち、本当は、この弾圧によって、暴動闘争を主張し労働者の信頼を得ている、権力にとってはまことに都合の悪い目ざわりな連中を根こそぎ一掃し、半永久的に釜ヶ崎・山谷の闘争現場から切り離し、後は、弾圧対象から除外してもらうために、暴動闘争を否定する痛くもかゆくもない合法主義・組合主義、改良主義、観念的潮流を元気づければ、釜ヶ崎・山谷を再び昔の「古き良き時代」にもどし、資本家をして安心して搾取、収奪ができるようにするという狙っているということ。

④だがわれわれは、72年5・6月以降、死者を含む労働者のおびただしい血と努力によって勝ちとられてきた成果を反古にするような弾圧を決して許すことはできない。だまってみすごす訳にはいかない。

やられたらやり返せを合言葉に労働者の内発的かつ集団的な反乱が組織される以前の釜ヶ崎・山谷の状態はどのようなものだったのか。

それはひどいものだった。国営暴力団(ポリ公)と私設暴力団(ヤクザ)の暴力支配の下で、言いたいことも言えず、地獄のような労働に耐え、搾りとれるだけ搾りとられ、文句を言えばリンチされ殺されて、コンクリづめにされて闇から闇へ葬り去られるものもいた。一銭ももらえずタコ部屋からおっぼり出され、オケラのまま飢

えと寒さにうち震え、いったい何人の仲間が死んでいっただろう。やられてもやり返せず、無念の涙を飲んでやられ続けてきたこの怨みを……

72年5月の対鈴木組闘争は、このような抑圧状況を打破する突破口であったし、やられ続けた歴史に終止符を打つものとしてあった。手配師自身「もはや手配師の時代は終わった」と言わざるを得なくなつたのだ。対鈴木組闘争は、さらに、寄せ場全体の支配―被支配関係を一步一歩変えていく持久的な闘いへとひき継がれ、それは、山谷、馬場、寿の労働者の闘いへと波及していった。

爆取でつち上げ弾圧は、まさしく、「やられたらやり返す」新たな闘争が、労働者大衆の内部に深く定着し、もはや、従来の弾圧体系をもつてしては闘争の高まりをおさえ込むことができなくなつたとき打ち出されてきたのである。

(5) 釜ヶ崎・山谷闘争にかけられてきた爆取でつち上げ弾圧は、また「保安処分」の内実をもつものであり、その先行的実体化・実積をもつて刑法改悪策動の条件がつくられていくのである。「保安処分」とは頭の中で秩序に反抗するものに対してではなく、事実行為をもつて肉体で、秩序に反抗するもの(王)に対して、それも、一対一的報刑によっては「市民社会」の秩序に包摂し得ない諸個人に対する分断隔離の攻撃である。

(注) それは活動家や犯罪者である場合もあるし、「精神障害者」である場合もある。そして、これらの対象者が、「下層」に集中していることも確かである。歴史的に見ても、寄せ場とは、社会秩序からのアブレ者をかき集め囲い込んでおくらめにつくられた保安処分施設である。その中でまた反乱が起つているのだ！

釜ヶ崎・山谷闘争に対して、第一線で弾圧しているポリ公が嘆いている。「パクッてもパクッても奴ら過激派労働者(からだをはって闘う労働者)はハエのようにすぐもどつてきて、また過激なことをやる。どうにかせにやならぬ」と。

つまり、「暴行」「公妨」「恐喝」等の一対一的弾圧では、闘争を未然に防止する効果がないということ、したがって、半永久的に根こそぎ、うつつうしい奴らを隔離、抹殺するために、現行法における切札として、爆取でつち上げ弾圧をかけてきたのである。

ここ釜ヶ崎・山谷においては「暴力常習犯」に対する保安処分は日常的に行われており、持続的戦闘意志をもつ組織的な「暴力常習犯」すなわち「闘争性狂信者」に対する組織的、系統的なそれとして爆取でつち上げ弾圧はあるといえる。

釜ヶ崎・山谷闘争に対する爆取でつち上げ弾圧は、他の戦線なかになく労働戦線にとって決して無縁ではありえない。

今日の寄せ場労働者に対する弾圧を許すことは、明日の全社会的な弾圧を許すことにつながる。

釜ヶ崎・山谷闘争に対する爆取でつち上げ弾圧を暴露し阻止することは権力のどす黒い野望をつきくずさんとする全戦線の焦眉の課題である。

連絡先

釜共闘

06-631-2383

現闘委

03-874-6938